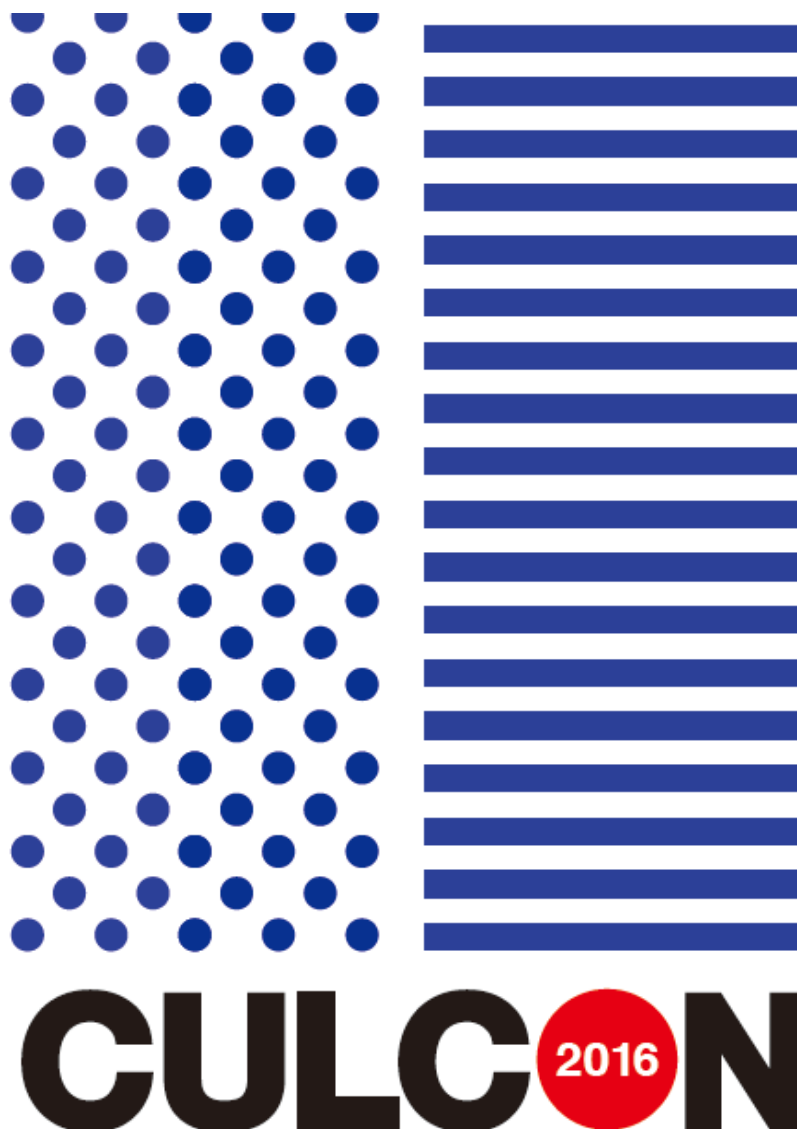


平成28年11月21日

日米文化教育交流会議（カルコン）美術対話委員会シンポジウム
「世界と日本美術～2000年以降の動向を中心に～」開催

文化庁では、本年12月6日（火）、「第6回カルコン美術対話委員会」（別紙1参照）の開催にあわせ、九州国立博物館（福岡県太宰府市）において、日本とアメリカの美術分野の専門家がプレゼンテーションやパネルディスカッションを行う「世界と日本美術～2000年以降の動向を中心に～」を開催しますので、お知らせいたします。

今回のシンポジウムは、日米間の美術交流を軸として、海外における伝統と現代を含めた日本美術の展示、関心等に関する近年の動向について、美術対話委員会委員を中心とした日米それぞれの第一線で活躍する専門家が、自らの知識・経験を踏まえて分析し、公開の場で説明・議論することにより、専門家のみならず幅広い層に、現状や課題を共有することを目的としています。



1. 日時・場所

平成28年12月6日（火）13：30～17：00（受付開始12：30）（予定）

九州国立博物館 1階 ミュージアムホール（福岡県太宰府市石坂4丁目7-2）

2. 主催等

主催：文化庁，カルコン美術対話委員会

共催：九州国立博物館

協力：国際交流基金

3. 出演者 ※敬称略，50音順

《日本》

伊東 正伸（国際交流基金文化事業部長，審議役）

栗原 祐司（国立文化財機構本部事務局長，京都国立博物館副館長）

島谷 弘幸（九州国立博物館長）

白原由起子（根津美術館特別学芸員）

林 道郎（上智大学国際教養学部教授，美術批評家）

《米国》

ジョン・カーペンター（メトロポリタン美術館日本美術担当学芸員）

ロバート・ミンツ（サンフランシスコ・アジア美術館アート&プログラムス担当副館長）

アン・ニシムラ・モース（ボストン美術館上級学芸員）

マリサ・リンネ（京都国立博物館国際交流担当フェロー）

シャオジン・ウー（シアトル美術館日本・韓国美術担当学芸員）

4. 参加方法

入場無料。事前申込制（先着順）。公式ホームページ（<http://www2.convention.co.jp/culcon2016/>）

又は別添チラシの申込フォーム（FAX）による。

※取材を御希望の方は，平成28年12月2日（金）正午までに，別紙2の取材申込書をFAXにてお申し込みください。

＜担当＞長官官房国際課国際文化交流室
室 長：高橋 徳嗣（内線3153）
室長補佐：樋口 理央（内線3166）
振興係長：是永 寛志（内線3167）
電 話：03-5253-4111（代表）

1. 趣旨・概要

日米間の美術交流を軸として、海外における伝統と現代を含めた日本美術の展示、関心等に関する近年の動向について、美術対話委員会委員を中心とした日米それぞれの第一線で活躍する専門家が、自らの知識・経験を踏まえて分析し、公開の場で説明・議論することにより、専門家のみならず幅広い層に、現状や課題を共有することを目的としている。

2. プログラム

13:30～13:40 主催者挨拶 島谷 弘幸

13:40～15:10 第1部 《プレゼンテーション》

○島谷 弘幸

—今回のシンポジウムの意義

—海外における日本美術紹介—2000年以降の日本の取組

○アン・ニシムラ・モース

—カルコンADCの現状と今後の課題

—ボストン美術館を中心とした近年の米国における日本美術に関する動向

○林 道郎

—現代アートを中心とした近年の海外（米国）における日本のアートに対する関心の動向

○シャオジン・ウー

—シアトル美術館の収蔵品と現代アート展示について

15:30～17:00 第2部 《パネルディスカッション》

モデレーター：島谷 弘幸

パネリスト：日本側 伊東 正伸, 白原由起子, 林 道郎

米 側 ジョン・カーペンター, ロバート・ミンツ, シャオジン・ウー

オブザーバー：日本側 栗原 祐司

米 側 アン・ニシムラ・モース, マリサ・リンネ

※敬称略。出演者及びプログラムは予告なく変更になる場合があります。

【参考】カルコン美術対話委員会について

カルコン（CULCON）とは、日米文化教育交流会議（The United States-Japan Conference on Cultural and Educational Interchange）の通称。1961年（昭和36年）6月、池田総理（当時）とケネディ米国大統領（当時）との間の共同声明により設立が合意され、1962年1月に東京で第1回合同会議を開催して以来、日米合同の会議を2年ごとに東京、ワシントンD.C. で交互に開催。日米両国間の有識者を一堂に集めて両国間の文化・教育交流に関する諸問題を討議することにより、文化・教育分野での交流の増進と相互理解の向上を図ることを目的としている。

美術対話委員会は（Arts Dialogue Committee：ADC）は、両国の民間及び公的機関の美術分野の専門家をメンバーとして、2011年にカルコンの下に設置され、日米間における古美術の分野から近現代美術の分野に至るまで、学芸員交流等による両国間の交流を強化することを目的として、これまで日米で交互に5回開催されている。

第6回は日本開催の順番であり、今回、福岡県の九州国立博物館において開催し、本シンポジウムは美術対話委員会の開催にあわせて実施するものである。

平成28年11月21日
文 化 庁

カルコン美術対話委員会シンポジウム
「世界と日本美術^{アート}～2000年以降の動向を中心に～」
取材申込書

1. 開催日時

平成28年12月6日（火）13:30～17:00（予定）

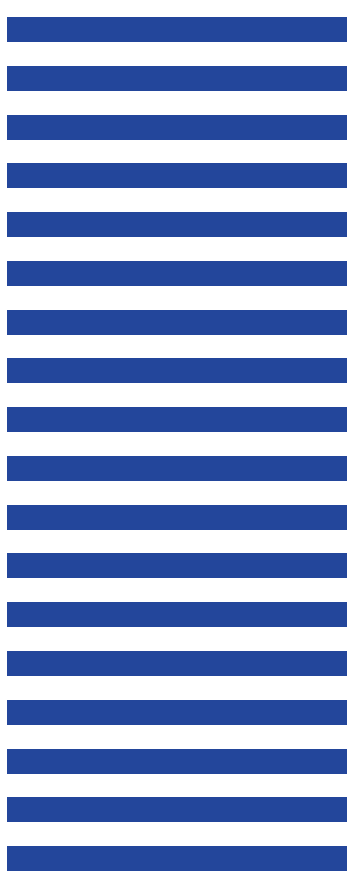
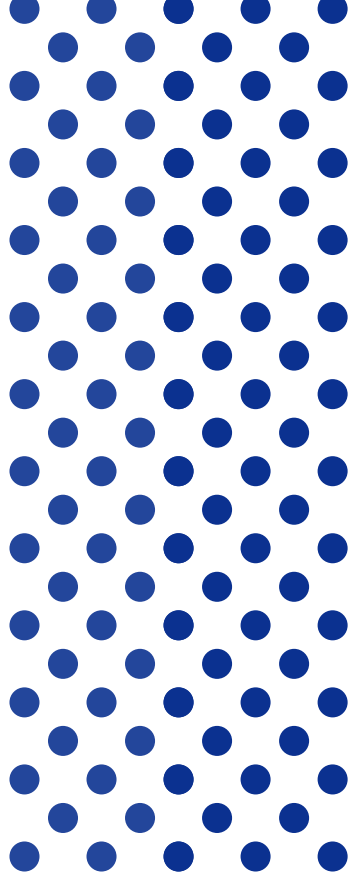
2. 開催場所

九州国立博物館 1階 ミュージアムホール（福岡県太宰府市石坂4丁目7-2）

※取材を希望される場合は、取材内容を御記入の上、FAXでお申し込みください。

＜取材申込先＞長官官房国際課国際文化交流室
振興係長 是永 寛志（内線3167）
振興係員 宮澤加奈江（内線3110）
代表：03-5253-4111
FAX：03-6734-3813

【取材内容記入欄】	
<p>■ 会社名</p> <p>TEL :</p>	<p>■取材内容に✓を付けてください。</p> <p><input type="checkbox"/> カメラ</p> <p>動画 台 / スチール 台</p> <p><input type="checkbox"/> ペン</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>
<p>■担当者名(全ての方のお名前を記入してください。)</p>	



Hiroyuki Shimatani 島谷弘幸
Director of the Kyushu National Museum 九州国立博物館長

Michio Hayashi 林道郎
Professor Art History, Visual Culture, Faculty of Liberal Arts, Sophia University 上智大学国際教養学部教授、美術批評家

Masanobu Ito 伊東正伸
Managing Director & Executive, Program Director of Visual Arts, Arts and Culture Department, The Japan Foundation 国際交流基金文化事業部長、審議役

Yukiko Shirahara 白原由起子
Curator, Special Assignment, Nezu Museum 根津美術館特別学芸員

Yuji Kurihara 栗原祐司
Secretary-General, National Institutes for Cultural Heritage, Deputy Director, Kyoto National Museum 国立文化財機構本部事務局長、京都国立博物館副館長

Anne Nishimura Morse アン・ニシムラ・モース
Boston Museum of Fine Arts Senior Curator of Japanese Art, Museum of Fine Arts, Boston

Xiao Jin Wu シャオジン・ウー
Seattle Art Museum Japan and Korean Art Curator, Seattle Art Museum

John Carpenter ジョン・カーペンター
Metropolitan Museum of Art Japanese Art Curator, Metropolitan Museum of Art

Robert Mintz ロバート・ミンツ
Deputy Director, Art & Programs, Asian Art Museum of San Francisco

Melissa Rinne マリサ・リンネ
Research Fellow for International Affairs, Kyoto National Museum



日米文化教育交流会議 CULCON 2016

●カルコン美術対話委員会シンポジウム ※日英同時通訳有り

アート

『世界と日本美術～2000年以降の動向を中心に～』

CULCON Arts Dialogue Committee Symposium

【第一部】プレゼンテーション 【第二部】パネルディスカッション(予定)

日米間の美術交流を軸として、海外における伝統と現代を含めた日本美術の展示、関心等に関する近年の動向について、美術対話委員会委員を中心とした日米それぞれの第一線で活躍する専門家が、自らの知識・経験を踏まえて分析し、公開の場で説明・議論することにより、専門家のみならず幅広い層に、現状や課題を共有することを目的として開催します。

2016.12.06 九州国立博物館 ミュージアムホール
13:30～17:00 [12:30開場・受付開始] 〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2

事前
申込制
入場無料

主催 >> 文化庁、カルコン美術対話委員会 共催 >> 九州国立博物館 協力 >> 国際交流基金



「世界と日本美術 ～2000年以降の動向を中心に～」

C U L C O N A r t s D i a l o g u e C o m m i t t e e S y m p o s i u m

カルコンの趣旨・概要

「カルコン」(CULCON)とは、日米文化教育交流会議(The United States-Japan Conference on Cultural and Educational Interchange)の略称。1961年(昭和36年)6月、当時の池田総理とケネディ大統領の共同声明に基づき発足。2年ごとに日本と米国で交互に開催。日米両国間の有識者を一堂に集めて両国間の文化・教育交流に関する諸問題を討議することにより、文化・教育分野での交流の増進と相互理解の向上を図ることを目的としている。

「美術対話委員会」は、日米間における古美術の分野から近現代美術の分野に至るまで、学芸員交流等の両国間の交流を強化するため、カルコンの下に2011年(平成23年)に設置。これまでワシントン、東京、ホノルル、徳島、ワシントンで5回開催され、第6回となる本年は福岡の九州国立博物館で開催される。

「公開シンポジウム」はこのカルコン美術対話委員会の開催にあわせ、文化庁とカルコン美術対話委員会の主催により行われるものである。

■ プログラム(予定)

12 30 開場・受付開始

13 30 主催者挨拶

13 40~15 10 プレゼンテーション

島谷弘幸／アン・ニシムラ・モース／林道郎／
シャオジン・ウー

15 30~17 00 パネルディスカッション

●モデレーター

島谷弘幸

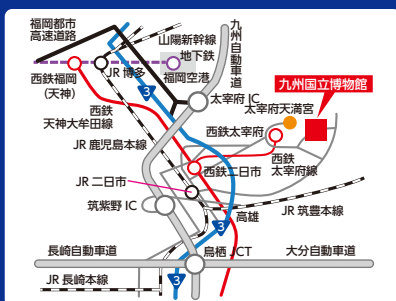
●パネリスト

伊東正伸／白原由起子／林道郎／ロバート・ミ
ンツ／ジョン・カーペンター／シャオジン・ウー

●オブザーバー

栗原祐司／アン・ニシムラ・モース／マリサ・
リンネ

■ 会場アクセス



九州国立博物館 ミュージアムホール

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂 4-7-2

<http://www.kyuhaku.jp/>

■ 交通手段

● 鉄道

・西鉄を利用する＝「西鉄福岡(天神)」駅から約35分

「西鉄福岡(天神)」駅から西鉄天神大牟田線(特急約13分/急行約17分)で「西鉄二日市」駅乗り換え、西鉄太宰府線(約5分)で西鉄「太宰府」駅下車、徒歩で約10分(*特急/急行料金不要)

・JRを利用する＝JR「博多」駅から約35～50分

JR「博多」駅からJR鹿児島本線(快速約15分)でJR「二日市」駅下車後、

1) 徒歩(約12分)または西鉄バス(約5分)で「西鉄二日市」駅へ、「西鉄二日市」駅から西鉄太宰府線利用。西鉄「太宰府」駅下車、徒歩で約10分

2) タクシーで九州国立博物館まで約15分

3) 西鉄バスで九州国立博物館まで約30分(*1時間に1本運行)

● 自動車

九州自動車道を利用する 太宰府ICまたは筑紫野ICから高雄交差点経由で約20分

**事前
申込制**
入場無料

申込みはWEBまたはFAXで

FAXの場合は下記申込みフォームにご記入の上、御送付ください。後日、メールにて詳細をご連絡いたします。
(先着順にて締め切る場合がございますので、あらかじめご了承ください)

WEB

<http://www2.convention.co.jp/culcon2016/>

FAX

092-712-6262

※当社に御提供いただく個人情報については、御本人の同意なく、本イベントの参加登録以外の目的で利用することはありません。また、個人情報を事前の告知なく、文化庁を除く他の機関・業者等に提供することはありません。

「カルコンシンポジウム」

〒810-0002 福岡市中央区西中洲 12-33 福岡大同生命ビル 7 階 日本コンベンションサービス株式会社 九州支社内
TEL:092-712-6201 FAX:092-712-6262 E-mail: culcon2016@convention.co.jp

FAX申込みフォーム

フリガナ		②所属 無しの場合は、記入は不要です。	
①氏名			
③電話番号	④FAX	⑤Email	